

青山学院大学 vs 東京農業大学

9月16日(月・祝)
11:30K.O.
たつこの

前節、勝利したチーム同士の対戦。特に東農大は東国大に初の黒星を見舞っており、勢いのまま連勝となるか。

青学大は前節、東海大に2-1で勝利した。その前の試合で敗れていたこと、そして東海大がメンバーを変えてきたことで、前半は慎重な試合運びとなってしまう、前半ロスタイムに相手に先制点を許した。「前半はチャレンジする回数が少なかった。ポゼッションしながら攻めることを意識させて、後半の立ち上がりで得点できたのが良かった」(宮崎純一監督)。48分に同点とすると、攻撃陣がリズムを取り戻し、66分に勝ち越し点を奪うことに成功した。「相手の様子を見過ぎて自分たちのペースをつかめないのはもったいない。常にアグレッシブなサッカーをしたい」(宮崎監督)。東農大は出足が早く後半に回ると厄介な相手。前節の勢いもあるだけに、中盤で先手を取れるかどうかを鍵を握る。

その東農大は前節、無敗を続けていた東国大を2-1で破った。後半戦初戦では完敗を喫しただけに、改めて初心に戻り、チャレンジャー精神をむき出しにした積極的な戦いぶりを見せ、相手チームの監督に「東農大は素晴らしいファイトスピリットがあり、全員がひたむきにボールを追いかけた」と言わしめた。前半は高い

位置でボールを奪いショートカウンターを仕掛け、11分に先制点。後半に入ると相手にボールを持たれる時間が長くなり、後半だけで10本のシュートを浴び66分には同点とされたが、木村俊夫コーチが「粘り強くやって凌ぎながら、少ないチャンスをモノにできた」と話したように、最後は87分に勝ち越し点を奪った。終盤まで接戦で持ち込めれば、今節も勝機は見えるだろう。

<出場停止>なし / 3回警告: 村山翔(東農大)
<前回の対戦>青学大1-1東農大

青学大	東農大
31. 諸井	23. 中西
16. 恵	18. 今野
4. 中村	3. 田村
18. 関谷	10. 浜田
12. 高橋	11. 井上
6. 高山	14. 石川
8. 後藤	30. 矢口
10. 木澤	6. 中垣内
3. 早田	5. 櫻岡
7. 荒木	19. 岡庭
13. 久保	27. 加藤

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 2013-NO.12
編集: 五味亜矢子 印刷: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ



東国大初黒星！今節より2巡目の対戦へ

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 2 部リーグは、前節で各チームとも 1 巡目の対戦を終了し、折り返し点を迎えた。無敗を続けていた東国大に初めて黒星をつけたのは、同じ今季資格組の東農大。87 分の決勝点で鮮やかな勝利を飾った。首位と勝点 7 差がついてしまった駒大は、法大を 2-0 で破って勝点差を再び 4 に戻した。3 位の関学大は拓大に 2-1、4 位の青学大は東海大に 2-1、5 位の東学大は神大に 3-2 と、後半戦開幕戦とまったく異なり、首位以外はすべて上位チームが勝利を収めた。そんな中、唯一の後半戦連勝を飾ったチームが平国大で、朝鮮大に 1-0 で勝利した。逆に、最下位の東海大は連敗スタートとなっている。

リーグ戦は半分を終え、相変わらず東国大が昇格レースを一歩リー

得点ランキング	アシストランキング
8: 小牟田洋佑 (駒大)	5: 佐伯 拓磨 (東国大)
山本 大貴 (駒大)	田中 雄一 (駒大)
7: 伊東 純也 (神大)	4: 今野 順 (東農大)
6: 星子 直哉 (平国大)	3: 全 8 名
内野 裕太 (拓大)	
5: 全 3 名	

ドしているが、駒大が首位に肉薄できるのか、3 位以下が昇格争いを面白くできるのか、そして上位グループとの差を縮めたい下位グループが巻き返せるか、残り半分のリーグ戦に期待!

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第 11 節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	関学大	青学大	東学大	東農大	平国大	朝鮮大	拓大	神大	法大	東海大	勝数	負数	分点	得点	失点	得失差	勝点
1	東国大	100	401	302	201	102	101	201	301	100	400	300 (没収)	9	1	1	25	9	16	28	
2	駒大	001	200	401	402	302	304	102	200	401	200	401	8	3	0	29	14	15	24	
3	関学大	104	002	000	400	003	300	400	201	002	201	300 (没収)	6	4	1	19	13	6	19	
4	青学大	203	104	000	100	101	000	102	100	201	401	201	5	3	3	15	13	2	18	
5	東学大	102	204	004	001	916	922	1116	1026	105	915	6	5	0	17	18	-1	18		
6	東農大	201	203	300	101	102	103	101	200	103	100	300 (没収)	5	4	2	18	14	4	17	
7	平国大	101	403	003	000	103	301	100	302	103	101	203	4	4	3	17	20	-3	15	
8	朝鮮大	102	201	004	201	002	101	001	001	102	100	401	4	6	1	12	16	-4	13	
9	拓大	103	002	102	001	102	002	203	100	502	201	301	4	7	0	16	19	-3	12	
10	神大	001	104	200	102	203	301	301	201	205	102	102	4	7	0	18	22	-4	12	
11	法大	004	002	102	104	100	001	101	001	102	201	402	3	7	1	11	20	-9	10	
12	東海大	003 (没収)	104	003 (没収)	102	102	003 (没収)	302	104	103	201	204	2	9	0	12	31	-19	6	

※東海大は後半戦終了時点で勝点-6となります

朝鮮大学校 vs 神奈川大学

9月16日(月・祝)
11:30K.O.
古河

こちらは、前節で黒星を喫したチーム同士の対戦。勝点差はわずか1。上位グループを追っていくためには、どちらもモノにしたい一戦だ。

朝鮮大は前節、平国大に0-1で惜敗した。しかも、88分に1点を奪われての敗戦は、ショックの残る敗戦であった。前半はボールを保持しながら攻撃を仕掛ける時間が多かったが、なかなか決定機をつくり出せず、結果的に前後半ともシュートは2本ずつに終わった。後半はロングボールも交えて打開策を図ったが、「うまくゲームの流れをつくれず、終盤は足が止まり、相手に自由なスペースを与えてしまった」と金載東監督が嘆いたように、一進一退の攻防を繰り返した疲れが終盤に出てしまった。懸案だった守備面には粘りが出てきただけに、自分たちのペースをつかめた時間帯にしっかり得点につなげたいところ。

対する神大は、前半戦の不振を払しょくすべく後半戦初戦を快勝したが、前節は東学大に2-3で敗れた。スコア上では接戦と言えるが、先に3点を奪われるという展開は、ズルズルと失点を重ねてしまった前半戦終盤の嫌な流れを思い起こさせてしまった。しかし、今回はそこから反撃を見せ、追いつくには及ばなかったものの2

点を返し、意地を見せた。高峯弘樹監督もその点は高く評価し、「今回は選手たちが前を向いて試合をしていた。前半戦と比べて成長できた点だ」と話した。特に後半は、先に点を取られたとはいえお互いに譲らない攻防であったが、セカンドボールの競り合いで先手を取られる場面が多かった。追いつけた意地を今節につなげたい。

<出場停止>なし / 3回警告: なし
<前回の対戦>朝鮮大1-2神大

朝鮮大	神大
23. 安泰永	2. 柿崎
12. 姜光	7. 長野
3. 李教俊	9. 高尚人
14. 朴利基	10. 伊東
28. 金成大	4. 向山
21. 康貴成	28. 武田
6. 任良太	16. 前田
16. 韓勇俊	14. 芦野
20. 金慎也	26. 内野
15. 趙頭一	8. 須郷
	3. 高木

* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています *

ただ、自分に勝ちたい。

「リクナビ就職エージェント」
電話と就活にメールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
<http://job.rikunabi.com/agent/athletic/info02/>

東京国際大学 vs 拓殖大学

9月15日(日)
11:30K.O.
たつこ

今季初黒星を喫してしまった東国大と、9位に順位を落としてしまった拓大との対戦。中3日と試合間隔が短く、しっかりと切り替えられたのはどちらか。

前節、ついに初黒星を喫してしまった東国大。昇格“同期”の東農大に1-2で敗れた。東農大が立ち上がりから非常にアグレッシブな戦いを仕掛けてきて、高い位置でボールを奪われる場面が多く、早くも11分に先制点を許した。後半は一転、ボールを保持する時間が増えて逆襲、1点を返したものの87分に決勝点を奪われた。後半だけで10本のシュートを浴びせただけに、決定力に欠けたのが残念であった。「ボールを奪われたところで速攻されたので、最終ラインが抵抗できるようにしなければ」(前田秀樹監督)。東国大の勝ちパターンとは違う、“攻から守への切り替え”の部分で課題が見えた。今節は2人の出場停止選手のカバーも鍵だ。

対する拓大は前節、関学大に1-2の逆転負けを喫した。拓大の攻撃のムードメーカーであるFW内野裕太(4年)を出場停止で欠きながら、その穴を埋めたFW沼倉類(3年)が38分に先制点を奪う活躍を見せたが、後半開始早々の49分に同点弾を許し、81分にクリアボールを拾われ決勝点を決められた。同点とされたあとも、

前がかりになってきた関学大の隙を突いて積極的な攻撃を見せたものの、「ゴール前のプレーが丁寧さに欠ける。シュートはあったが、相手を崩してというものではなかった」と玉井朗監督が話したように、いま一つ決定力に欠けた。前半戦の対戦では3点を奪われた東国大戦だけに、カウンターからの失点には気をつけたい。

<出場停止>加藤龍治・伊東駿太(東国大) / 3回警告: 赤崎俊太(東国大)

<前回の対戦>東国大3-1拓大

東国大	拓大
6. 鹿糠	2. 三浦
17. 小玉	15. 唐澤
5. 川島	30. 沼倉
12. 赤崎	31. 高橋
10. 若井	19. 菅能
21. 今野	21. 小林
14. 上船	6. 小野
3. 阿部	24. 末松
9. 福島	4. 金子
11. 高橋	18. 大森
24. 鈴木	26. 小針

東京学芸大学 vs 東海大学

9月15日(日)
11:30K.O.
東海大G

前節で後半戦初勝利を飾った東学大と、2連敗を喫してしまった東海大との対戦。両チームとも少しずつ攻撃陣の調子が上がっており、接戦となるか。

なかなか昇格圏に近づくことができていない東学大だが、前節の神大戦では3点を先行する試合展開を見せ、3-2で勝利した。なかでも、前半戦はケガで思うようにプレーできなかったFW中村風太(4年)が38分、56分と2得点を決める活躍。狙っていたサイド攻撃も有効に機能し、攻撃面では明るい材料となる収穫の多いゲームであったと言える。しかし、一方では3点を奪ったあと2点を返されるという、楽勝ムードが一転する試合展開は大きな課題。西園聡史監督も、「3-0になったときに安心した感じが出てしまい失点してしまった。失点を重ねてから、攻撃の終わり方が良くなかった」と話した。昇格争いに加わるためには勝ち続けなければならない。攻守にわたる安定感を見せてほしい。

対する東海大は前節、青学大に1-2の逆転負けを喫した。後半戦は2連敗スタート、最下位に苦しんでいるが、後藤太郎新監督のもとで東海大が目指すサッカーが徐々に見えてきているとも言える。特に前半は、攻撃に自信を持つ青学大から先手を取り、パスをつなぎながら

相手ゴールに迫って、前半ロスタイムに先制点を奪った。しかし後半は徐々に青学大の攻撃に押され、48分と66分に失点。後半はやや足が止まってしまった。「準備した戦術を実践することはできていた。狙っていることは良かったが、チーム全体としての駆け引きがもう一歩だった」(後藤監督)。目指すチームの形を見せながら、結果を出すことができるかどうか。

<出場停止>なし / 3回警告: なし

<前回の対戦>東学大2-1東海大

東学大	東海大
5. 廣木	26. 小野
8. 佐々木	27. 北原
4. 脇本	3. 小山
15. 菅	15. 和田
12. 須賀	12. 佐藤
23. 平田	19. 永吉
3. 成田	25. 溝口
13. 中村	2. 太田代
18. 五十嵐	16. 寺尾
20. 京田	23. 木村
	29. 内山

駒澤大学 vs 平成国際大学

9月15日(日)
11:30K.O.
日立

後半戦1勝1敗の駒大と、2連勝の平国大との対戦。前半戦での対戦では3-4という激戦の結果、平国大が勝利している。2度目の対戦の結果はいかに。

2位の駒大は前節、調子を上げてきた法大を2-0で破った。後半戦初戦で痛い黒星を喫しただけに、負けられない大事なゲームであったが、全体的には押される展開。前半はパスをつないで攻め込んでくる法大の攻撃に合い、守備陣の粘りとクロスバーにも助けられて無失点に抑えると、55分にセットプレーから久々の出場となったDF伊藤慎人(3年)が先制点を決め、続く57分にも立て続けに追加点。初スタメンとなったFW吉岡雅和(1年)の動きの良さが光った。秋田浩一監督も、「内容的には不満足な部分もあるが、一生懸命プレーしていたし勝てたので良かった」と評価した。ただしシュート13本を許すほどの攻撃を浴びただけに、前線からのディフェンスをさらに強化したい。

対する平国大は前節、朝鮮大に1-0で勝利し、後半戦開幕2連勝を飾った。平国大らしい粘り強い戦いが光っている。朝鮮大戦は、前半はパスサッカーの応酬となったなか、決定的なチャンスはつくれないうまま後半へ。「前半は慎重になり過ぎた。勇気を持ってプレーしなけ

ればいけなかった」(西川誠太監督)と発破をかけられた後半は人とボールの動きが良くなり、ついに87分に決勝点を奪った。朝鮮大に対しても球際で負けることなく、守備面でも安定感を見せた。前回の対戦では駒大を破っているが、「今日は45分しかできなかった自分たちのサッカーをいかに90分に近づけていくか」(西川監督)が鍵だ。

<出場停止>なし / 3回警告: なし

<前回の対戦>駒大3-4平国大

駒大	平国大
3. 田中	16. 増田
18. 溝口	11. 千葉
5. 伊藤	26. 小松崎
7. 碓井	6. 本田
22. 野村	10. 堀越
9. 小牟田	30. 馬屋原
30. 吉岡	9. 星子
6. 若山	17. 坂本
4. 平尾	2. 須藤
17. 平野	19. 堀越
13. 大木	3. 深井

関東学院大学 vs 法政大学

9月15日(日)
13:50K.O.
東海大G

後半戦1勝1敗のチーム同士の対戦だが、前節を勝利した関学大に対し、無得点で敗れた法大が中3日でのいかに立て直しを見せてくるか。

後半戦初戦で完敗を喫した関学大だったが、前節は拓大に2-1と逆転勝利を飾った。前半、拓大の攻撃の前に後手を踏み、38分に先制点を奪われただけに嫌な展開ではあったが、「受け身は自分たちのスタイルではない。自分たちから攻めていこう」(石村大監督)と立て直しを図った後半は攻撃のリズムを取り戻し、49分に同点、そして81分に決勝点を奪った。同点としたあと、お互いに攻め合い自陣で守る時間帯も長かったが、ゴール前では相手に決定的な仕事をさせなかった。後半は前線からの守備が機能したことも、攻撃のリズムの良さにつながった。「後半戦は黒星スタートだったので、ここがスタートだと思ってやっていきたい」(石村監督)。

対する法大は前節、駒大と対戦して0-2で敗れた。リーグ中断期間の好調を持ち込み、後半戦開幕戦を快勝しただけに、好調時のリズムを忘れないためにも今節は重要な一戦だ。駒大戦は、結果的に0-2ではあったが、立ち上がりから攻撃のリズムは良く、決定的なチャンスもあったがクロスバーにも嫌われ無得点。55分に

恐れていたセットプレーから先制点を許し、57分にも追加点を奪われたのが痛かった。「集中力が切れてしまったところで立て続けに失点してしまったのが敗因。簡単に失点しないことが大切」(大石和孝監督)。今節はFW松本大輝(4年)が出場停止となるが、攻撃陣のコンビネーションに期待したい。

<出場停止>松本大輝(法大) / 3回警告: 土館賢人(関学大)、田代雅也・西室隆規(法大)

<前回の対戦>関学大2-1法大

関学大	法大
6. 木村	17. 森保
9. 富樫	7. 村野
4. 久保	18. 鈴木
10. 橋村	2. 宗近
7. 太田	6. 星
1. 守山	1. 四宮
14. 佐藤	8. 大野
4. 土館	15. 高橋
11. 萱沼	13. 木村
8. 山本	16. 松田
5. 山口	30. 永戸